

「学び女史プログラム」事業 【坂井市】

個別事業費	344 千円
交付金額	172 千円

地域の実情と課題

女性の就業率・正規雇用割合が高い反面管理職比率は低く、男性中心の労働環境が根強く残り、家庭においては男性の家事・育児参画時間が短い。
 管理職を目指す女性が少ない要因としてロールモデルとなる女性が身近にいないこと、キャリアアップに関する助言を受ける機会が少ないこと挙げられる。

目的・目標

本市の実情と課題を踏まえ、女性のキャリアアップを支援するとともに、ワーク・ライフ・バランスのとれた生き方を学ぶ場を提供する。
 ■女性の管理職希望者の割合 39% (R5末で50%・・・未達成)

事業の特徴

市内在住または在勤の女性を対象とした全4回の連続講座を開催。管理職を前向きに目指すきっかけとして不安な状況をうまく乗り越えるコツを学ぶセミナーや県内で活躍する女性経営者や管理職によるトークセッションを実施。これらを連続講座とすることで、参加者同士の交流を促し、企業を超えた女性同士のネットワークづくりを図った。
 また驚頭副知事との交流会を実施し、管理職への意識向上に加え、働くモチベーションの向上を図った。

連携団体

■市内のイクボス宣言企業(事業所単位) 70社 (R5年度末時点)

事業の効果

事業満足度は各回100%を達成しており、参加者アンケートにおいても、「職場や家庭において今回学んだことを活かしたい」「女性活躍推進に関する考えが深まった」等前向きな声が多くあり、管理職になることへの意識向上やスキルアップにつながったと考えられる。

今後の課題

女性管理職の育成・登用において解決すべき課題の一つは「女性の意識」である。意識を変えていくことを軸に、キャリアアップに向けた実践的な内容も取り入れ、女性の管理職への意識向上を目指す。

学び女史プログラム

市内在住または在勤の女性を対象に連続セミナーを開催。第1～3回は、不安な状況をうまく乗り越えるコツを学ぶセミナー、第4回目は、地域で活躍する女性経営者や管理職を招いてのトークセッションを実施した。11月には福井県初の女性副知事に就任された鷲頭 美央副知事を招き、市内イクボス宣言企業との交流会を実施。

第1回 7月27日(木)・第2回 8月10日(木) 「無理難題にイライラしない！ストレスフリーな断り方・心の収め方」

苦情対応の際は相手の気持ちに寄り添った言葉がけで、相手の感情を浄化し、自分も気持ちよく対応ができると説明された。

第3回 8月31日(木) 「聞き手を惹きつける！人前での印象アップな伝え方」

道筋を立てた話し方を考える“話の地図作り”の時間には例題をもとにワークを行い、参加者同士でコンパクトな伝え方を実践した。

第4回 9月14日(木) 「トークセッション&学び女史お茶会」

女性活躍のロールモデルとして県内で活躍するお二人を招き、仕事と家庭の両立の秘訣や女性リーダーとして大切にしていること等をお話しいただいた。

特別講座 11月16日(木) 鷲頭副知事との交流会「あきらめなくていい 私たちのキャリアとプライベート」

福井県初の女性副知事に就任された鷲頭 美央副知事を招き、副知事の講演とイクボス宣言企業との交流会を実施。講演後の交流会は車座に坐って質問に幅広くお答えいただいた。女性活躍を自身で実践されている傍ら仕事の息抜き方法についても語られた。



▲報告書の作成・配布(新規啓発)